

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月24日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677100119
法人名	有限会社ジェーケイエル
事業所名	グループホームねむの樹
所在地	鹿児島県鹿屋市串良町有里6284番地1 (電話) 0994-62-8030
自己評価作成日	平成29年1月27日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年3月12日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が1日1日を穏やかに過ごせるように、理念を目標に、家族のように心の通うケアを心がけています。ホームも敷地が広くのどかなどところに建っているので、バナナや野菜などを植え、作物が育っていく過程や収穫を楽しめるように支援しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、1号棟からスタートし2号棟を増設、さらに今年7月に移転を計画している。各棟それぞれに、アットホームな雰囲気であり木造建築の温かみのある施設である。また、広い敷地内に菜園やバナナの木、シンボルマークのねむの木があり、季節の野菜やバナナの収穫は利用者と職員が一緒におこなっている。
- 地域は、近隣に住宅がなく日常的な交流が困難なため、中学生の職場体験やクリスマスの慰問を受け入れたり、近隣の障害者施設の夏祭りに参加させていただくなど行事を通じて社会と交流している。
- かかりつけ医は在宅医療に熱心に取り組んでいる医療機関であり、訪問看護ステーションとの医療連携が構築されているため、適切な医療が受けられる体制が整っており、緊急時や夜間の対応、重度化や看取りについても柔軟に取り組んでいる。今年、1月看取りを経験した。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホーム内に理念を掲げることにより、理念の共有を行っている。	理念は、共有スペースに掲示されており、以前見直しもあった。ケア会議などで振り返りの機会を持つようしており、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元の中学との交流があり、職場体験やクリスマスの慰問、年賀状などを送っていただいている。また、他施設の夏祭りに参加させていただいている。	地域とは、中学生や障害者施設との交流活動を通じて社会と交流している。また、民生委員さんが草刈りに来てくださる。ホームは、近く転居予定でありこれまでの経験を踏まえ、地域サロンやサポーター養成などの活動を検討したいと考えている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議にて、実際の事例をもとに気を付けるべき事項を民生委員等と共有し、地域住民のケアに役立ててもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回運営推進会議を行い、報告を行っている。近いうちに施設が移転する予定となっているので、移転先付近の住民などに参加していただけないか相談中である。	管理者は、家族の参加が少ないことに悩んでいるが、家族会を通じて交流会を実施しており、会議への参加を呼び掛けている。行政や民生委員など参加メンバーにはホームの取り組みや課題など十分に理解していただいております。意見交換してアドバイスなどをもらいサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>必要に応じて電話やメール等を使用し、助言や指導をお願いしている。</p>	<p>生活保護受給者が多く、福祉担当職員との連携を図っている。市担当者には、運営推進会議に参加していただきホームの実情を確認していただきながら指導や助言などもらっている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>年に数回社内研修を行い、職員全員が理解できるように努めている。</p>	<p>定期的に身体拘束についての勉強会を開催し、職員への周知と意識の統一を図っている。センサーマットを使用している方がおられるが、身体拘束委員会の中で話し合い経過観察している。帰宅願望が強い方もおられ夜勤帯にヒヤッとした事例があったが、大事に至らなかった。ふいに外に出て行かれる方もあり、職員と一緒に散歩したりして気分転換を図っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日々のケアの中で声掛けや対応が高齢者虐待につながらないように、高齢者虐待防止法等についての勉強会や会議などでケアの振り返りを行っている。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域包括支援センターによる金銭管理を実際に利用しており、職員も理解できている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書について説明を行い、十分に理解を得てから契約を行うようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	普段から意見・要望等言いやすい関係を築いており、何かあれば職員に直接話して下さっている。また、苦情対応窓口を設けて対応している。	利用者や家族からは、生活の中や面談時に意見、要望などを聞き取るよう雰囲気作りに努めており、ハード面について要望があったことがある。職員は、出された意見などを職員会議などで話し合い運営に反映するよう取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	2月に1回程行っている職員会議にて意見を聞く機会を設けているほか、代表者にいつでも意見を言いやすい関係・環境を作っている。	管理者は、2ヶ月1回の職員会議や毎日のミーティング、ケア会議などで職員から意見や提案などを聞き取ったり、年1回個人の目標、希望、要望を提出してもらい必要に応じて面談を実施している。出された意見などはケア会議で話し合い、サービスに活かしている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の事情を考慮して勤務を組んだり、資格の取得等を給与に反映させたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>地域の介護事業所による協議会に参加しており、そちらの主催する研修に参加している。長期間の研修等も、勤務の調整など行い参加しやすいようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>介護事業所の協議会へ参加しており、研修等への参加や、情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に施設職員にて調査・情報収集を行っているほか、面会や体験入所などで関係作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>事前に面会し説明を行い、その他相談を受けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前の面談や体験入所などで、聞き取りを行いサービスの方針を決めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人にてできることは自己にてしていただいたり、一緒に行うようにしている。また、入居者同士で助け合っている場面もみられる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に話し合いの機会を持ったり、家族会への参加をお願いしている。 一部の入居者は病院受信を家族にお願いしている方もいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人・知人の訪問もあり、面会者には催しの案内等行い、関係継続の支援を行っている。	地域行事である、「黒土祭り」に参加し野菜を購入したり、職員と自宅に帰り果実の樹の手入れをしている方がおられる。友人、知人の面会があり、ホームの行事にも案内を送り参加を呼びかけている。墓参りや外泊などは家族の協力をもらっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々のレクリエーションに皆が参加しやすいように工夫をしたりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時に家族へ何かあれば相談するように伝えることはあるも、終了後は疎遠となっている方がほとんどである。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎月担当者にて本人の状態観察を行うようにしており、可能な限り希望をかなえられるように努めている。	毎月ケア会議は、本人の思いを共有する機会にもなっている。職員は、利用者本位の生活の実現に向けて話し合い、個別ケアの大切さを職員全員が理解して実践に向けて取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や友人から情報を得たり、以前入所していた施設や病院などからも情報をもらうようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日記録を付けておりそれにて確認をしたり、訪問看護や往診にて本人の状況把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ケア会議を行っており、担当する全職員にて話し合い、その他家族や主治医からも意見をもらったりしている。	利用者ごとに担当者がおり、毎月の請求書にお手紙と「利用者様の様子」と題したモニタリングを郵送している。計画の見直しは、状態変化時や更新時などに随時実施し柔軟に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別に記録を行っており、日々の申し送りやケア会議にて情報を共有し、実践等に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況変化時や、ほかのサービスが必要な時は家族や主治医と話し合い、今後について検討している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩など外へ出る機会はあるも、近くに民家が少なく交流等はできていない。その他外部とのかかわりもなかなか利用できていないのが現状である。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各入居者のかかりつけ医より情報提供要請があった際はすぐに情報を提供するようにし、往診をしてくださる医師とは良好な関係を築いている。	隔週の訪問診療や家族に協力をいただき、外来受診をしている。訪問看護師が週1回来られ、夜間帯や緊急時の対応など医療連携が図れるよう協力関係を築いている。人工肛門を増設している方もおられ、他科受診については、職員が口頭や書面による情報提供を実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回ある訪問看護時に個々の状態報告を行い、助言を受けている。また、体調の急変時には連絡を行い状態確認や指示を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には、情報提供書を作成している。退院についても病院と密に連絡を取りながらなるべく早期に退院できるように協議を行うようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所の時点で重度化・終末期についての説明を行っており、本人や家族の意見をもとに定期的な方針を決め、訪問看護や往診を利用し安心して過ごせるように支援している。</p>	<p>契約時に重度化・終末期の意向について、話し合っている。「意思確認書」があり、段階に応じてその時々意思確認をおこない記録に残している。今年1月、入所後十数年介護した方を家族と看取った。主治医が在宅医療に熱心であることも安心感に繋がっており、訪問看護師との連携もあり、チーム支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ほとんどの職員が一般救命講習を受けているほか、緊急時の連絡体制の確認などを定期的に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月避難訓練を行うこととしており、入居者にも時々参加していただきながら訓練を行っている。ただ、地域との連携は取れていない。</p>	<p>年2回消防署の立ち合いの下、避難訓練を実施、毎月自主訓練し隔週、自己点検（トラッキング現象対策や備品チェック）をしている。また、水や缶詰、インスタント食品などを備蓄している。地域との協力体制はない。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	家族のように接しながらも個々を尊重する気持ちを忘れないように声かけ等行うようにしている。	馴れ合いになり行き過ぎた鹿児島弁使いになることがあるので、職員同士気をつけて注意するようにしている。また、ケア会議では職員一人ひとりが振り返る機会を設けている。外部研修には積極的に参加している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のかかわりの中で本人が思いや希望を言いやすい環境・関係作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間が決まっている物はあるが、その中でもなるべく本人の希望する時間に行えるように時間をずらすなど努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出時や入浴後の更衣時等本人の望む服装ができるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に食材の下ごしらえをしたり、調理方法を聞いたりなどしている。時々それぞれが好きな物を提供することもある。	庭にバナナの木があり入所者と一緒に収穫したり、菜園で栽培した、さつまいも、ピーマンなどを食材に活用している。カロリーを考え麦ごはんにしたり、おせち料理、誕生日会、敬老会などの行事食を提供している。ただ、外食はできていない。おやつ作りや個々の能力に応じたお手伝いがある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の記録にて食事・水分量を記入するようになっており、なかなか水分が取れない方には飲み物の工夫など行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけを行い口腔ケアを行っていただいております、必要に応じて職員が介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	記録にて本人の排泄状況を確認し、必要に応じて声かけや確認を行っている。	排泄チェック表にて排泄のリズムを把握し、トイレ誘導し排泄ができています。ポータブルトイレを使用される方はいない。おむつからリハビリパンツへ、リハビリパンツから布下着へと改善した事例がありトイレでの排泄を基本に排泄の自立支援を実践している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳の提供や、医師への相談・便秘薬の服薬などを行い、定期的に排便があるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の曜日は決まっているが、本人の希望により入浴の順番や入浴の中止・延期等行っている。	本人の体調やタイミングを見ながら気持ちよく入浴ができるよう声かけしている。無理はせず時間をずらしたり、曜日を変更したり、入浴の間隔を見ながら清潔が保てるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態に合わせて好きな時間に寝れるようにしている。日中に昼寝をされる入居者もいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	すべての職員が内服の説明書を読み、理解をしている。状態の変化時は訪問看護や主治医に確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その日の状況に合わせて買い物や散歩、掃除などを職員と行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設周辺の散歩を行っているほか、時々遠方の公園などに行けるように支援している。墓参り等は家族の協力を得て家族と行ってもらおうようにしている。	天候を見ながら職員と敷地の菜園へ散歩したり、ドライブがてら自宅訪問している。桜の時期は近くの公園に花見見物、季節ごとの花見の外出もしている。また、家族の協力を得て墓参りや外出・外泊、受診に行った帰りに外食や買い物を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	ほとんどの方が自己にて管理をするのが困難なため、施設にて家族よりお金を預かり、ほしいものがあればそこから支払いをしている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	本人より希望がある場合は希望通りにできるようにし、家族より電話があった際は本人と変わったり等している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共有空間には季節に合った飾りを入居者と一緒に作成し、飾りつけを行っている。自分の席やトイレなどの場所がわかりやすいように表示している。	木造建築で手作り感満載の共有スペースであり、ユニットごとに雰囲気が変わっている。フェルトの雛飾りなど季節感を感じさせるレイアウトがされており、空気清浄器、加湿器などで適度な環境調整をしている。対面キッチンであり、テーブルやソファが置かれ、思い思いにくつろげるよう配慮されている。玄関には、季節の生花が活けてあった。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	共用空間にて気の合った入居者同士で座り談笑をしたり、新聞やテレビを見たり、離れた場所のソファでくつろがれたりされる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の協力も得ながら使い慣れた家具や日用品を居室内に置くようにしており、自宅での生活に近い環境づくりに努めている。</p>	<p>家族アルバム、ゲートボールの道具、時計、クリアケースなど馴染みの品を持ち込み本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。2号棟は全室畳部屋であるが、転倒予防のためフロアマットを活用している方もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>介護ベッドの使用や手すりの設置等自立した生活が送れるようにしており、配置方法の変更などで個々の状態に合うようにしている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない